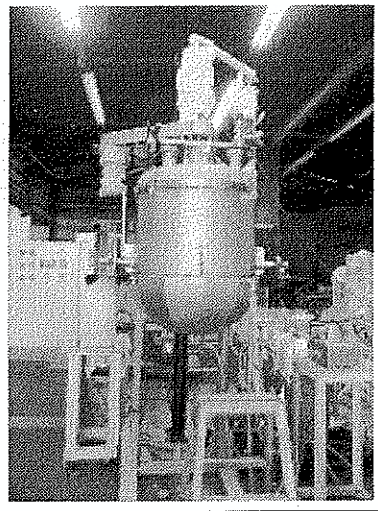
飼料米からエタノール

化粧品など商品化へ　岩手で実証実験

ファーメンステーション（東京都港区、酒井里奈社長、03・6277・1047）は、飼料用のコメから抽出したエタノールを使って化粧品などを商品化するため、岩手県で実証実験に乗り出した。エタノールの生成過程で生じる発酵残さについても家畜の飼料として畜産農家に提供する。地域の農産物資源を有効活用したビジネスモデルを構築し、地元の活性化に役立てる。



地元農家から原料のコメの提供を受け、岩手県奥州市に設置したプラントで同社がエタノールを製造する。商品化に向けては、東日本大震災からの復興事業を手がけるなつかしい未来創造（岩手県陸前高田市）が市場調査などで協力する。

原料として使うのは、休耕田で生産した飼料用のコメ。これを破砕機や発酵・蒸留の一体型装置（写真）などで構成するプラントに投入する。蒸留後に廃液を出さないため処理コストと環境負荷の少ない固体発酵と呼ばれる方法でエタノールを生成する。

生成したエタノールを使い芳香剤や消臭剤を開発し、売り出していく計画。生成過程で発生する発酵残さについては、岩手県奥州市の畜産農家などに提供、豚や鶏といった家畜用の飼料として利用してもらう。実証実験を通じて今後、エタノールの生成率の向上や生成日数の短縮を図り、2013年にも商品化する計画だ。

同社は、バイオマスのエタノール化に取り組む技術開発企業。醸造・発酵技術に関する教育・情報提供も行っている。

土壌CO_2測定 実証

大起理化、東大と共同

大起理化工業（埼玉県鴻巣市、大島忠男社長、048・568・2500）は、東京大学と共同で、土壌表層から発生する二酸化炭素（CO_2）量を測定する実証実験に着手した。同社が開発した「CO_2計測ステーション」（写真）を千葉県柏市にある東大の実証実験圃「ペレニアルガーデン」に設置し、モニタリングを始めた。

CO_2計測ステーションは2台の測定チャンバーを用いて条件の異なる2カ所の土壌CO_2を計測。1時間、24時間ごとのそれぞれの排出量を1平方㍍当たりミリグラムで1968棟。「300棟以上は受注しないと、大手不動産の一角ではいえない」（香月秋裕常務執行役員）というのが実情だった。

「J・レジデンス」はマンション仕様という他社にない特徴を生かし、追い上げを図る新商品となる。東京・大阪・名古

四国電力の火力発電所は阿南（徳島県阿南市）、橘湾（同）、西条（愛媛県西条市）、坂出（香川県坂出市）の4拠点。このうち阿南発電所では10年3月から長期計画停止に入った2号機（出力22

同2号機の運転開始は69年。古いプラントのため、運転員は社内や出向先の関連会社から運転経験のあるベテラン社員を集めた。招集要員が抜けた穴の補充や業務量が増えた発電所内への業務応

現場支援するOB（右）が若手社員に助言する（阿南発電所、四国電力提供）

シニアと若手

夏場のピーク

さあ出番

川崎設備

企業の自家発設置に力

イラン制裁強

建て

が攻

勢

マンション用

高級土業・コスト減

オフィス、マンションに定評のある住友不動産が一戸建て住宅の強化を打ち出している。三井不動産など他の大手不動産に比べると、注文住宅で出遅れ感がある住友不動産。強みであるマンション開発のノウハウを生かし、マンション仕様の高級な住宅設備機器や独自の制震装置を備えた新商品を投入し、巻き返しを図る。

（杉浦武士）

「オフィス、マンションだけでなく、注文住宅でも強みを発揮したい」。和泉沢忠晴専務執行役員キッチンをはじめ、マンションで実際に使用している高級機器を導入した。一般にこうした住設

外観や空間づくりではテラスやバルコニーの出入り口には約2・4㍍のサッシを採用し、開放感を演出。外観では軒先の水平ラインと統一感のある窓回りにより、洗練された外観を創り出した。最も特徴が表れている

の性質を備えたアクリル系粘弾性体を利用し、揺れを最大約25%、変形を最大約55%抑えられるという。

オフィスやビルに定評のある同社だが、注文住宅では後発組だ。先行する大手不動産などに追随